



## 2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年12月23日

上場会社名 株式会社しまむら 上場取引所 東  
コード番号 8227 URL <https://www.shimamura.gr.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 鈴木 誠  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 企画室長 (氏名) 辻口 芳輝 TEL 048-631-2131  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年2月期第3四半期の連結業績（2024年2月21日～2024年11月20日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	497,803	3.8	46,559	2.0	47,752	2.1	33,649	1.7
2024年2月期第3四半期	479,660	3.4	45,649	2.5	46,790	2.8	33,077	4.3

（注）包括利益 2025年2月期第3四半期 34,157百万円（0.6％） 2024年2月期第3四半期 33,944百万円（6.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	457.78	—
2024年2月期第3四半期	450.02	—

（注）当社は、2024年2月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	576,603	493,095	85.5
2024年2月期	533,807	471,408	88.3

（参考）自己資本 2025年2月期第3四半期 493,095百万円 2024年2月期 471,408百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	130.00	—	150.00	280.00
2025年2月期	—	95.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	95.00	190.00

（注）1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年2月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年2月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年2月21日～2025年2月20日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	659,622	3.9	56,362	1.9	57,694	1.7	40,194	0.3	546.83

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 当社は、2024年2月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年2月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期3Q	73,826,598株	2024年2月期	73,826,598株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	322,506株	2024年2月期	325,332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期3Q	73,504,081株	2024年2月期3Q	73,503,131株

- （注）当社は、2024年2月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付書類P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2024年12月23日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ホームページに記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、個人消費の伸び等が寄与し、7～9月期の実質GDPは年率換算0.9%増と2四半期連続のプラス成長となりました。欧州では、ユーロ圏の7～9月期の実質GDPは、五輪特需等により年率換算1.5%増となりました。政策金利の引き下げにより、景気は緩やかな回復基調となっています。米国では、個人消費が継続して堅調なものの、新規雇用者数の伸びが鈍化し、失業者が増加傾向にある等、今後の見通しは不透明なものとなっています。

### 1) 消費環境の概要

- ①当第3四半期連結累計期間の国内消費環境は、10月の消費者物価指数が、2ヵ月連続で伸び率が縮小しました。これは、電気・ガス料金の補助金が再開したこと等によるものです。一方で、10月の消費支出は3ヵ月連続でマイナスとなりました。名目賃金は増加していますが、食料品価格の上昇等により実質賃金は前年並みにとどまっており、節約志向は依然として根強いです。
- ②天候については、9月は猛暑日を観測した地域もあり、記録的な残暑となりました。10月は秋雨前線の影響で一時的に気温が低下する日もありましたが、晴れた日には真夏日を観測するほどの暑さとなりました。11月上旬には各地で最低気温が10℃を下回り、朝晩の冷え込みが強くなりましたが、11月中旬には再び全国的に気温が平年を上回りました。当該期間は季節外れの高気温の日が非常に多く、秋冬物の販売には厳しい気候でした。

### 2) 当社グループの状況

このような状況下で、当社グループは2024年度のグループ統一テーマを“ネクスト・チャレンジ1st『当たり前を改める』”としました。全ての「当たり前」という考え方を改め、商品の作り方や売場の見せ方はもちろん、組織や人材育成、システムや用地開発など全ての部署で新たなチャレンジに取り組んでいます。

### 3) しまむら事業

- ①主力のしまむら事業は、ブランド力を進化させるため自社開発ブランド(Private Brand、以下PB)とサプライヤーとの共同開発ブランド(Joint Development Brand、以下JB)の品揃えを拡充しました。PBでは、従来品よりも厳しい品質基準をクリアした長く使用できる商品「ヘビロテシリーズ」を新たに展開し、残暑の中でも売れ筋となりました。また「FIBER HEAT」シリーズでは、“あたたかいただけじゃない”をテーマに商品力を強化しました。JBでは、高価格帯商品の拡充を進めました。素材やデザインで従来品と差別化を図り、ウール混のニットやコートが売れ筋となりました。
- ②広告宣伝では、残暑・暖冬への対応として、企画の構成やチラシサイズを見直し、集客力の向上につなげました。重点催事では、特価の品揃え拡大や事前告知によるアピールを強化したことが、売上につながりました。当第3四半期連結累計期間は8店舗を開設、8店舗を閉店し、店舗数は1,415店舗となりました。また売上高は前年同期比3.2%増の3,710億39百万円となりました。

### 4) アベイル事業

アベイル事業は、4つのJBを中心にアウター衣料の品揃えを拡充しました。トレンドでは、古着風のヴィンテージテイストを拡大しました。また、平成ブランドやバースデイ事業との親子連動企画など、コラボ企画の拡充が売上につながりました。ラインロビングでは、キャラクターのトラベル・カー用品が売れ筋となりました。当第3四半期連結累計期間は6店舗を開設、3店舗を閉店し、店舗数は315店舗となりました。また売上高は前年同期比6.3%増の501億26百万円となりました。

### 5) バースデイ事業

バースデイ事業は、オケーション企画を強化しました。JB「Cottoli(コトリ)」や「futafuta(フタフタ)」で展開したハロウィンやクリスマス企画が好調でした。また、インフルエンサーとのコラボ企画では、キャラクター商品が売れ筋となり、店頭販売に加えてオンラインストアによる受注対応で売上を伸ばしました。当第3四半期連結累計期間は12店舗を開設、2店舗を閉店し、店舗数は334店舗となりました。また売上高は前年同期比5.0%増の586億2百万円となりました。

6) シャンブル事業

シャンブル事業は、コスメや食品が売上を伸ばしました。コスメでは、韓国系商品の品揃えを充実させ、若年層の取り込みを図りました。食品では「ラーメンフェア」や「北海道フェア」などの施策が売上につながりました。アウター衣料では、新たなブランドの立ち上げや展開サイズの拡大など、商品構成の見直しを進めました。当第3四半期連結累計期間は3店舗を開設し、店舗数は121店舗となりました。また売上高は前年同期比2.5%増の112億14百万円となりました。

7) ディバロ事業

ディバロ事業は、機能性の高い商品を拡充し、立ったまま履けるスニーカーや防水シューズなどが売れ筋となりました。アウター衣料では、高気温への対応として秋物の展開を拡大し、売上を伸ばしました。また販促物によるトータルコーディネート提案を強化し、「靴&ファッション」としての事業確立を進めました。当第3四半期連結累計期間の店舗開設・閉店は無く、16店舗での営業となりました。また売上高は前年同期比11.7%増の6億96百万円となりました。

8) 以上の結果、当第3四半期連結累計期間の日本国内の業績は、売上高4,916億78百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益463億38百万円(同2.0%増)、経常利益476億11百万円(同2.1%増)、四半期純利益は335億16百万円(同1.8%増)となりました。

9) 思夢樂事業

台湾全域で店舗を展開する思夢樂は、20代から60代の女性とその家族をターゲットとした総合衣料の専門店として、日常生活に必要なソフトグッズがお客様の欲しい時に必ずある店舗の実現に向けて、事業の再構築を進めています。商品力の強化では、日本企画のPBやJB、台湾企画のPBなど、オリジナル商品の品揃えを拡大しました。ラインロビングでは、アウトドアやスポーツのカテゴリーを拡大しました。販売力の強化では、台湾の人気インフルエンサーを起用し、SNS配信による販促を拡大するなど、デジタル販促の高度化を進めました。当第3四半期連結累計期間は2店舗を開設し、1店舗を閉店し、店舗数は43店舗となりました。また売上高は前年同期比9.3%増の12億78百万NT\$(61億25百万円)となりました。

10) 以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高4,978億3百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益465億59百万円(同2.0%増)、経常利益477億52百万円(同2.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は336億49百万円(同1.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ、427億96百万円増加し、5,766億3百万円となりました。これは主として、有価証券の増加206億98百万円、商品の増加182億66百万円、売掛金の増加125億89百万円、建物及び構築物の増加35億円、投資その他の資産のその他の増加32億27百万円、現金及び預金の減少157億7百万円によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ、211億9百万円増加し、835億7百万円となりました。これは主として買掛金の増加194億3百万円、流動負債のその他の増加82億77百万円、未払法人税等の減少32億67百万円、賞与引当金の減少34億87百万円によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ、216億87百万円増加し、4,930億95百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加211億53百万円によるものです。

[キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動及び新規出店等による投資活動、ならびに財務活動を行った結果、前年同四半期連結累計期間末に比べ196億89百万円減少し、1,455億27百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、50億55百万円増加し、291億78百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益473億39百万円、仕入債務の増加額194億3百万円、その他の流動負債の増加額82億46百万円、減価償却費45億21百万円等に対し、棚卸資産の増加額182億66百万円、法人税等の支払額165億62百万円、売上債権の増加額125億89百万円、賞与引当金の減少額34億87百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、337億84百万円減少し、324億5百万円となりました。これは有価証券の取得による支出3,530億円、有形固定資産の取得による支出94億12百万円、投資有価証券の取得による支出51億98百万円等に対し、有価証券の償還による収入3,336億円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ、25億71百万円増加し、124億88百万円となりました。これは配当金の支払額124億76百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年4月1日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	161,235	145,527
売掛金	12,349	24,939
有価証券	109,600	130,298
商品	57,146	75,413
その他	4,555	3,969
流動資産合計	344,887	380,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	85,723	89,223
土地	49,941	51,192
その他(純額)	2,661	2,593
有形固定資産合計	138,326	143,009
無形固定資産		
その他	983	1,015
無形固定資産合計	983	1,015
投資その他の資産		
差入保証金	15,932	15,523
その他	33,692	36,919
貸倒引当金	△14	△12
投資その他の資産合計	49,609	52,429
固定資産合計	188,919	196,454
資産合計	533,807	576,603

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,625	44,028
未払法人税等	9,293	6,025
賞与引当金	3,564	76
執行役員賞与引当金	—	33
その他	14,668	22,946
流動負債合計	52,151	73,110
固定負債		
定時社員退職功労引当金	1,161	1,178
役員退職慰労引当金	114	48
執行役員退職慰労引当金	286	289
退職給付に係る負債	1,841	1,869
資産除去債務	6,400	6,564
その他	443	446
固定負債合計	10,247	10,397
負債合計	62,398	83,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,086	17,086
資本剰余金	18,655	18,673
利益剰余金	432,274	453,428
自己株式	△1,418	△1,411
株主資本合計	466,596	487,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,226	5,731
為替換算調整勘定	△365	△365
退職給付に係る調整累計額	△48	△45
その他の包括利益累計額合計	4,811	5,319
純資産合計	471,408	493,095
負債純資産合計	533,807	576,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年11月20日)
売上高	479,660	497,803
売上原価	312,974	324,323
売上総利益	166,685	173,480
営業収入	1,068	1,054
営業総利益	167,753	174,535
販売費及び一般管理費	122,103	127,975
営業利益	45,649	46,559
営業外収益		
受取利息	124	259
受取配当金	179	218
投資有価証券売却益	1	190
包装資材売却益	117	123
受取補償金	176	143
為替差益	306	—
雑収入	238	276
営業外収益合計	1,145	1,212
営業外費用		
為替差損	—	16
整理済商品券回収損	1	0
雑損失	4	1
営業外費用合計	5	19
経常利益	46,790	47,752
特別利益		
雇用調整助成金	16	—
特別利益合計	16	—
特別損失		
固定資産除売却損	80	212
減損損失	233	167
災害による損失	9	16
その他	11	16
特別損失合計	334	413
税金等調整前四半期純利益	46,471	47,339
法人税等	13,393	13,690
四半期純利益	33,077	33,649
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,077	33,649

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年11月20日)
四半期純利益	33,077	33,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	945	504
繰延ヘッジ損益	△4	—
為替換算調整勘定	△83	—
退職給付に係る調整額	9	3
その他の包括利益合計	866	507
四半期包括利益	33,944	34,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,944	34,157
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月21日 至 2024年11月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	46,471	47,339
減価償却費	4,415	4,521
減損損失	233	167
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,192	△3,487
執行役員賞与引当金の増減額(△は減少)	35	33
定時社員退職功労引当金の増減額(△は減少)	26	17
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△65
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	66	3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	84	31
受取利息及び受取配当金	△304	△478
為替差損益(△は益)	△291	9
固定資産除売却損益(△は益)	80	212
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	△190
売上債権の増減額(△は増加)	△10,480	△12,589
棚卸資産の増減額(△は増加)	△17,727	△18,266
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,173	527
仕入債務の増減額(△は減少)	16,285	19,403
その他の流動負債の増減額(△は減少)	6,597	8,246
その他	59	△96
小計	40,188	45,337
利息及び配当金の受取額	224	402
法人税等の支払額	△16,289	△16,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,123	29,178
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△239,999	△353,000
有価証券の償還による収入	196,499	333,600
有形固定資産の取得による支出	△5,944	△9,412
有形固定資産の売却による収入	1	19
有形固定資産の除却による支出	△64	△182
投資有価証券の取得による支出	△17,807	△5,198
投資有価証券の売却による収入	1	1,249
差入保証金の差入による支出	△766	△991
差入保証金の回収による収入	1,887	1,542
その他	0	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,190	△32,405
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△16	△11
配当金の支払額	△9,900	△12,476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,916	△12,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51,940	△15,707
現金及び現金同等物の期首残高	217,157	161,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	165,216	145,527

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自2023年2月21日 至2023年11月20日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高					
外部顧客への売上高	474,124	5,535	479,660	—	479,660
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	474,124	5,535	479,660	—	479,660
セグメント利益	45,442	207	45,649	—	45,649

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自2024年2月21日 至2024年11月20日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高					
外部顧客への売上高	491,678	6,125	497,803	—	497,803
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	491,678	6,125	497,803	—	497,803
セグメント利益	46,338	221	46,559	—	46,559

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。